

# 楓

ふうえん

# 園

特集

## 大学の課外活動

- NEWS 大学・大学院／中高部／小学部  
東洋英和幼稚園／大学付属 かえで幼稚園／学院 ● 5
- クリスマス関連諸行事のご案内 ● 12
- この人に聞く 蜂谷 可奈子 ● 13
- 聖書の言葉／訃報／史料室レター ● 14
- 英和星空探訪／同窓会より／後援会より／お知らせ ● 15



大学 よこはま森の楽校 英和の森の自然遊び

保育子ども学科 山下久美准教授と学生による自然遊び。大学の森を散歩しながら、自然とたっぶり触れ合う一日でした



# 大学の課外活動

わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。

ローマの信徒への手紙 十二章六〜七節



## 清楓会執行部

東洋英和女学院大学には、学生自治会、体育会・文化会・同好会、そして新しく発足したばかりの仮同好会を合わせて約四〇の課外活動団体があり、その歴史や活動内容はさまざまです。  
今回はこの中から、清楓会執行部・グラウンドホッケー部・E.S.S.・Lapin編集部の活動をご紹介します。

人間科学部人間科学科 三年

高野 晶歩

清楓会は、本学の学生全員で組織されている学生自治会で、この清楓会を運営している機関が清楓会執行部です。かえて祭実行委員会・代議員会・卒業準備委員会・部長会執行部・英和サポートネット等を統括し、

で、いち早く新入生の方々と交流する機会がありました。そのおかげで清楓会執行部をアピールすることができ、たくさんの新入部員を迎えることができました。

毎年の活動計画や予算等を立案して、学生総会で学生の総意を問いながら、東洋英和での学生生活をより良くするために、三年生十一人、二年生六人、一年生一八人の計三五人で日々活動しております。

そして、七夕の日には、浴衣で参加するイベントを開催し、フォトコンテストやビンゴ大会などで楽しんでいただくことができました。当日までの三日間には、学内に笹を設置し、多くの方に願い事を書いていただき大変好評を得ました。

今年度は、入学式での受付や写真撮影のお手伝い、新入生を対象とした「履修相談会」、公認団体による新歓イベント「フレッシュマンガイダンス」の運営、「新入生オリエンテーション合宿」のお手伝いなど

また、昨年から開催している本学主催のシンポジウムに、今年度は三つの女子大学を六本木校地に招待し

ました。女子大学を盛り上げるためにはどのような工夫が必要かなどを話し合い、今後の課題を見つめ直す貴重な機会を作ることができました。今後の活動として、かえて祭にて毎年入試広報課が行っている進学相談会で、入学希望者との相談のお手伝いや、二〇一八年度入学者に向けて学生生活において必要な情報をまとめた手帳作り、学食企画、毎年恒例のクリスマスパーティーを予定しております。今年度は新しい企画に多く携わらせていただく予定です。  
これからの学生の皆様に楽しんでいただけるような企画運営や学生生活における要望を受け取る機会を設け、大学と学生のパイプラインとして活動していきたいと思っております。今後の活動にぜひご期待ください。



副会長 高野晶歩さん



入学式で撮影のお手伝い



清泉女子大学・東京女子大学・跡見学園女子大学との女子大シンポジウム

# グラウンドホッケー部

人間科学部人間科学科 四年  
島田 果歩

私たちグラウンドホッケー部は、関東学生ホッケーリーグで二部上位を目指して練習しています。グラウンドホッケーというスポーツがよく知らない方も多いと思いますので、少し説明をしますと、サッカーによく似たスポーツで、スティックと呼ばれる杖のような道具でボールを叩き、パスを繋ぎ、ゴールへ入れます。とてもスピード感のあるスポーツです。

部員は全員大学からホッケーを始めています。中学高校と運動部だった部員が多いですが、文化部だった部員もいます。現在、部員は一〇人（人間科学科五人、保育子ども学科五人）で、ホッケーの試合は十一人で行われるので、大変な事も多いのですが、グラウンドホッケー部の最も良い所は部員同士の仲の良さだと思います。



副部長 島田果歩さん（左）と、部長 山崎ゆりかさん（右）



昨年の秋季リーグ最終戦にて、勝敗を決する直前の円陣



東海大学フィールドホッケー部との合同春合宿

まず、練習日が週に四日あり、夏休みなどの長期休み中も同様なので、同じ学年学科の友達よりも会う回数が多いのです。暑い中、寒い中の練習を一緒に耐えた仲間との関係はとても深くなります。練習日以外にもご飯を食べに行ったり、遊びに行ったり、部員全員でデイズニerlandにも行ったことがあります。もちろん、卒業してから関係は続いていて、卒業された先輩方が試合に応援に来てくださいますし、毎年七月にはOG会という現役部員とOGの方々の交流会が行われます。OGの皆様には部活動を支えてくださり、時には進路についての相談にも乗ってください、大変感謝しております。

練習日は多いのですが、部員は皆、学業と両立させています。年に二回、長期のオフ期

間があって、テスト前とテスト期間には練習はありません。そのため、授業に専念することが出来ます。ただ、段々とホッケーが好きになってしまっているので、オフ期間中もやりたくなってしまうのですが…

この他、他大学のホッケー部と合同合宿や練習試合などを通じて、学外の友達もできます。年二回、春と夏の合同合宿は、場所は年によって変わりますが、群馬県で行われる事が多いです。普段の練習は大学のグラウンドで行っていますが、合宿は人工芝のホッケー場でも気持ちがいいです。夏場は照り付ける日差しが強く、辛いですが、鮮やかな緑色の人工芝の上でホッケーをやるのは最高です。チームメイトとパスが繋がったり、シュートが入ったりした時は尚更です。

最近、なかなか良い成績を残せていませんが、諦めずに練習を続けていきたいと思いが、諦めずに練習を励む仲間と共に、勝利し、笑顔になるために、強い気持ちをもって部員一同頑張っていきます。かなりの時間をホッケーに捧げたことを後悔しないためにも、活のためにも全力で、九月から始まる秋季リーグを進みたいと思います。応援よろしくお願いたします。

最後に、グラウンドホッケー部はいつでも部員を募集しています。私たちと一緒にホッケーを頑張り

ませんか。練習の見学、ホッケー体験も可能です。お待ちしております。



グラウンドホッケー部OGとの交流会



グラウンドホッケー部顧問  
国際社会学部国際社会学科教授  
澁谷 隆良  
グラウンドホッケー部は来年で創立三〇周年を迎えます。これまで一部リーグ所属、関東選抜選手輩出など、輝かしい成績を残してきました。近年は部員数の減少により、苦しい戦いを強いられつつありますが、先輩たちから受け継いだ英和魂を胸に、日々努力を重ねています。華やかなウェアで奮闘する部員たちの姿は一見の価値があります。

# E.S.S. (English Speaking Society)

国際社会学部国際社会学科 三年

小山 優花

私たちE.S.S.は英語に慣れ親しみ、英語を通してさまざまな人々とコミュニケーションを図りたいという思いで日々活動に励んでいます。ディスカッションセッションとスピーチセッションがあるのですが、人数が少ないため、現在は全員が両セッションに所属している形です。

E.S.S.の主な活動は、週三回お昼休みのバリューディスカッションです。トピックは、身近なことや気になる社会問題、ショートムービーを見て感想を語りあうなど、多岐に渡ります。昨年までの活動の中で、皆、なかなか英語だけで会話するのが難しいと感じていました。そこで今年は、部員全員の希望に合わせたトピックやアクティビティを取り入れ、定型文などの資料を用意し、基本を覚えながら皆で徐々にステップアップしていくという形をとっています。

他にも、英語を使用したミニゲームを持ち寄りで行ったり、希望者はコーチに指導を仰ぎながら、スピーチの作成に励んだりしてい



部長 小山優花さん



昼休みのディスカッション練習

ます。また、個人の英語力をアップさせるために、皆英語を積極的に学んでいます。現在は、まだ何にも頼ることなく、英語だけで会話するというのは難しく、スピーチを作成し大会で発表できる部員もいない状態です。しかし、目標は英語だけの会話、または大会への出場です。そのために、これからも皆で楽しく学んで成長していきたいと思っています。また、E.S.S.ではお昼のディスカッション以外に大会の運営も行っています。六月に四つの女子大合同主催（東洋英和女学院大学、共立女子大学、日本女子大学、昭和女子大学）ディスカッション大会「桜ディスカッション」、十一月にはジョイントスピーチ大会という、四大学間（東洋英和女学院大学、日本大学、獨協大学、高崎経済大学）で行われる「Maple Cup」を開催しています。昨までは毎年十二月に、オープンスピーチ大会、

水上僚子杯を開催していました。二三年前、東洋英和女学院大学E.S.S.のスピーチセッションに優秀なスピーチカードで、スピーチの大会を作りたいと切に願っていた水上僚子さんという方

がいました。しかし、三年生の前期に先天性の病気が発病し、その十二月にかえらぬ人となってしまう。そこで水上僚子さんの遺志を継ぎ、この大会が始まりました。

この大会はPrepared Speechとこう事前

に原稿を用意・暗記をし、七〜八分で発表するいわゆる一般的なスピーチとImpromptu Speechという与えられたテーマに対する考えを一〇〜一五分間でまとめ、三〜四分で発表する即興スピーチで構成されている珍しい大会です。多い時では八〇人ほどの応募があり、予選を勝ち抜いた他大学のE.S.S.のスピーカーや東洋英和の学生がスピーチを披露していました。しかし、かつては一〇〇人以上の部員数を誇っていたE.S.S.も今では現役が七人となり、二三年前から毎年行っていたこの水上僚子杯も部員の減少による運営人数不足とそれに伴う運営費用不足により、残念ながら今年休止せざるを得なくなってしまう。ですが、今後E.S.S.がかつての賑わいを取り戻した時、再び開催したいと考え、現在は立て直しや部員の獲得のための活動に力を入れています。



水上僚子杯

また、六月から新規の大学の企画として“English Island”という活動も始めました。これは、大学内に学生が誰でも気軽に楽しく英語に親しめる空間を設けようというものです。部員全員で意見を出し合い、いろいろなアクティビティを考え、どうしたら学生が気軽に楽しく参加できるか試行錯誤し、実際に何度か活動をした段階です。国際交流部や先生方の協力も得ながら、皆で楽しい空間を作り上げていきたいなと思っています。いずれは、大きなパーティーなども開催したいと思っています。

来年、再来年とE.S.S.が活動を続けていけるのか不安も大きいですが、こうした“English Island”などの活動を通して英語やE.S.S.に興味を持ってくれる人が増えることを部員一同願っています。

E.S.S.顧問 国際社会学部  
国際コミュニケーション学科教授

竹下 裕子

日本の英語教育の質の高さに間違いはありませんが、学んだ英語を実践的に使う機会が非常に少ないことも事実です。そのような環境のなかで、E.S.S.の部員たちは、自分たちが英語を使うだけでなく、英語を使う機会を提供しようとしています。英語を媒体とするからこそ見えてくるものをたくさん発見してほしいと思っています。



# Lapin 編集部

人間科学部人間科学科 三年  
篠崎 富美子

Lapin (ラパン) 編集部は、英和生だけで構成されたフリーペーパーを制作する仮同好会(※)です。毎週金曜日の五限や、お昼休みに活動しています。昨年十一月に発行した当時はたった六人で、しかも誌面づくりにおいては全員初心者でした。しかし、英和生同士意見も言いやすい環境で、抜群のチームワークと集中力を発揮。短期間で第一号を編集、発行し、今年の四月、新入生に向けて二五〇部を配布しました。フリーペーパーは無料で配布する分、発行のための費用は誰かが負担しなければならないことをすっかり忘れていて、第一号は部員で少しずつお金を出し合って自費出版となりましたが、現在、秋に発行予定の第二号に向けて、私たちの活動を支援して下さる広告主様や協賛団体様を探しています。



編集長 篠崎富美子さん(左)と、副編集長 神山莉奈さん(右)

Lapin編集部は文字通り、雑誌を制作する仮同好会ですが、編集するのはLapin編集部の活動のほんの一部でしかありません。編集するために、編集員である英和生が、多くの時間をかけて読者にとって魅力的な企画を考え、取材したり、実験したりするの

です。Lapin編集部は、いい意味で女子大生らしさを壊すような斬新な企画を立ち上げ、取材したり、実験したりと、英和生の好奇心を実現する場(誌面を作るため、と言えば、大体のことは大学も先生方も協力してくださいます)を目指しています。読者の気持ちを考えても、まずは自分たちが楽しんで活動することで、英和生の頭の中が反映された魅力的な記事が出来るかと考えています。さらに、明るくパワフルな英和生の声や活動を取材し、そしてそれらを誌面という手段で発信することにより、また多くの英和生へ還元する、そのような場もあります。あまり取り上げられることのない小さな声を取り上げることで、学内密着型の唯一無二の媒体になりたいと考えています。

編集長になってから、非常に多くの英和生と関わる機会がありました。学部学科や学年を超えた英和生がLapin編集部をきっかけとして融合し、想像を超えるアイデアが生まれる瞬間や、英和生の底力、そして、何よりも英和生のあたたかさを、記事を制作することを通して、肌で感じています。目には見えないけれど、確かに存在する英和生の力強さを発信する場としてLapin編集部が存続するために、これからも雑誌「Lapin」を発行し続けたいと思います。発足からまだ日は浅いですが、思ったより学内での反響が大きく、うれしい限りです。次の第二号も部数は少ないですが、楽しみにしていただけ

らと思います。

編集員は英和生なら年齢も関係なく、随時募集中ですので、気軽に声を掛けてくださいね！ ちなみにLapin編集部の「Lapin」はフランス語で「うさぎ」の意味です。「うさぎのように大きな耳を立てて、英和生の声を素早くキャッチし、機敏に活動する」という編集員の心構えと、私たちが発行する雑誌「Lapin」が可愛いうさぎのように皆に愛される存在でありたいという思い、そして、元気なうさぎのように常に前に飛び跳ね、躍進し続けたいという団体の意気込みを込めて、名づけました。Lapinの名の通り、編集員全員で日々精進していきたいと思っています。

(※)Lapin編集部は、現在仮同好会として活動中です。十二月の学生総会で同好会に昇格できるように頑張っています。



ラパン第1号の表紙



活動風景

## 大学公認団体一覧

- ◆学生自治会
  - 清楓会執行部/かえて祭実行委員会/英和サポートネット

## ◆体育会

- チアリーダース部/
- グランドホッケー部/ゴルフ部/
- 硬式庭球部/ラクロス部/
- ダンス部/DM/合気道部/
- バレーボール部/GT/
- バドミントン部/スカッシュ部/
- バスケットボール部/
- スキー部/TOPAZ/
- フィギュアスケートクラブ

## ◆文化会

- T.C.F.(聖書研究会)/裏千家茶道部/
- E.S.S.(English Speaking Society)/
- 心理学研究会 See/美術部 はにわ/
- ウインドアンサンブル部/放送研究会/
- 手話部 Sure!/軽音部/
- オーケストラ部/聖歌隊

## ◆同好会

- バレーボールクラブ/
- フラワーアレンジメント部/
- おもちゃサークル Wendy House/
- 漫画研究会 パトリオット/弓道部/
- ハンドベル部/競技ダンス部/
- 映像研究部 SOS団/HAPPICE/
- 国際交流部/パフォーマンス研究会/
- 国際関係研究会(IRSS)

## 研究室訪問

国際社会学部国際コミュニケーション学科

小久保 康之 教授



研究室の本棚にはヨーロッパ・EU関連の資料が整然と並んでいます

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程（政治学専攻）単位取得満期退学。静岡県立大学教授、ブリュッセル自由大学客員研究員などを経て、二〇一〇年国際社会学部教授就任。二〇一六年十二月より国際社会学部部長。

——先生は帰国子女と伺いました。

中学三年から高校二年まで、父親の転勤でベルギーのブリュッセルに住んでいました。このベルギーでの三年間が、その後の人生に大きな影響を及ぼしていますね。ヨーロッパやEUの政治を主たる研究対象とする国際政治学者になることを目指す出発点はその頃芽生えていたのだと思います。

——その後、実際に研究を志すきっかけや出来事などがあったのでしょうか。

大学在学中に交換留学でパリ第三大学に一年間留学したのですが、世界中から最先端の学問を吸収しようと集まってくる学生たちと勉強する中で、日本のヨーロッパ認識の浅さに危機感を覚え、日本人としてヨーロッパ政治・EU統合の研究を通じて、日欧関係の発展に少しでも寄与する責務があると感じたことが大きな契機でした。また、国民国家の枠組みを超えてEU統合を進めることで、平和と経済的繁栄をヨーロッパにもたらすことを模索している姿が、国際社会の新しいモデルケースになるのではないかと、という学問的関心をヨーロッパでの滞在経験を通じて抱くようになりました。

——今の研究テーマを教えてください。

難しい言葉で言えば、EUの政治的正統性です。つまり、国家を超える仕組みとしてのEUが市民から信頼される政治的枠組みとして機能するためには、現時点でどのような障がいがあり、将来どのような政治制度を構築しないといけないか、という問題です。更に、ヨーロッパは現在複数の危機に直面しています。単一通貨ユーロの危機、イギリスのEU離脱による危機、難民・移民による危機、テロの危機、ウクライナを巡るロシアとの対立の危機などです。これらの危機は重層的で、相互に連鎖しており、ヨーロッパにおける民主主義を根底から覆す危険をはらんでいます。ヨーロッパがそうした危機をどのように克服しようとしているのか、を検証することも大事な研究テーマです。

——前任校の静岡県立大学から東洋英和に來られて、どのようなことをお感じになりましたか。

宗教的に中立である公立学校から、キリスト教教育をベースとしている東洋英和に來て、改めてキリスト教について感慨を深めています。ヨーロッパで育ったので、キリスト教はとても身近なものでしたから、キリスト教世界にいる居心地の良さを感じています。

——最後にゼミの学生たちに大学四年間で身に付けてほしいことはありますか。

ゼミ生には、正解のない問題について、最善と思われる道を自分自身の力で見出すための基礎力と応用力を大学生活の間に習得し、社会にでてから右往左往することがないように四年間を有効に活用してほしいと願っています。



釣り好きとのことで壁には魚拓が貼ってありました



本棚にかわいいEUROベア

## ゼミ生から一言



国際コミュニケーション学科3年 楓 彩音さん(左)と、櫻井彩加さん(右)

小久保ゼミでは、EU・ヨーロッパを中心とした国際社会の動向について、政治や経済を中心に社会や文化、日本との関わりや影響もテーマの一つとして、幅広く勉強しています。ゼミの進め方は、まず課題書についての報告発表を行い、そのテーマについて質問や感想を意見交換します。課題書で理解が難しいところは先生に解説していただいて、理解を深めています。ゼミ内の雰囲気は和気藹々としてとても楽しいです。また、小久保先生は学生の相談にも親身になって考えてくださるため、何でも相談でき、信頼できる優しい先生です。

一号館・七号館にある研究室棟の中はどのような感じになっているかご存知でしょうか。在学生でもアドバイザー以外の部屋には、あまり入ったことがないかもしれません。今回は二人の先生方の研究室を訪問し、お話を伺いました。

人間科学部保育子ども学科

山下 久美 准教授



キャンパスの木の実で作った壁飾り。ブラインドのイカは数年前に山下ゼミの卒業生がティッシュペーパーで作ったもの

中高部、短期大学保育科卒業。幼稚園教諭を経た後、青山学院大学文学部第二部教育学科卒業、埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育専攻幼児教育分野修士課程修了。二〇〇五年人間科学部専任講師就任。二〇〇九年より現職。

先生は東洋英和の中高部と短期大学の卒業生ですので、まず中高部の思い出を教えてください。

一番の思い出は、生物部です。生物が好きで、クラブにどっぷり浸かっていました。モルモットを飼っていた時は朝晩世話をし、土日は連れて帰っていました。合宿もとても楽しかったです。中高時代、私は成績の振るわない生徒でしたが、先生方が一人ひとりの人格を重んじて、伸び伸びとさせてくださったので、「認めてくださっている」という根拠のない自信がありました。短期大学では、保育科に進まれました。一学年六〇人だったので、結束力があつ

とても仲が良かったのです。園長や副園長として今も現場で働いている同級生には、学生の実習を引き受けてもらっています。

また、保育科時代に障がいを持つ方のボランティアをする中で、中高で教えられた「神は愛である」という言葉がずっと胸に入り、短大二年のクリスマスに受洗しました。高二・高三の担任だった中野登美子先生にご報告に行ったら、とても喜んでくださったことを覚えています。

そして短期大学卒業後、保育の現場で働かれてから、研究に目覚めたと同じです。

幼稚園や保育園で通算一五年ほど働く中で、さまざまな子どもたちと出会い、自分の力のなさを知り、子どもについて、教育について、「もっと学びたいし、学ぶ必要がある！」という気持ちにさせられました。それで、専門学校に勤めながら、夜間大学に入り直したのです。そうしたら勉強が面白くて。大学院での研究も楽しく二年間あ



子どもの自然遊びに関する著書



もりっこTシャツ。ゼミの学生がキャンパスに生えている植物を描きました

つという間でした。中高の時のんびりしすぎて、もう少し早く研究に目覚めてもよかったのではと思う部分はありますが、やりたいことをやればいいんだよ、と育てていただいたことが、今に繋がっていると思います。

——ご専門は幼児の自然教育、保育学ですね。

子どもは自然と出会うと生き活きして、得るものが大きいのです。そのことを仲間や保育者に伝えたい、自分自身も実践したいと思いました。

幼い時に自然体験をした子どもたちは、大人になってから共感性やコミュニケーション能力が高く、やる気があるという調査結果も出ています。私は現在「観察調査」をメインに子どもにとっての自然体験の意匠を研究しています。

——先生が中心となって実施されている「よこはま森の楽校 英和の森の自然遊び」は毎回参加希望が多いそうですね。

本学が横浜市と共催しているイベントで、今年で六

ゼミ生から一言



保育子ども学科4年 安藤早紀さん

子どもの頃から動物や植物が好きなのは、山下先生の専門分野に強く惹かれました。「子どもと自然」のゼミに所属し、幼い時の自然体験の意味について、研究を深めているところです。山下先生は、授業だけでなく日々の生活でもたくさんサポートをしてくださったり、課外活動で学ぶ場を積極的に設けてくださいます。常に一人ひとりの学生と真剣に向き合い、個性をよく理解し、良いところを引き出してくれる先生です。保育者として、人として尊敬しています。山下先生のゼミで学ぶことを誇りに思います。

年目です。以前ゼミで、かえで祭などの機会に子どもたちとキャンパスの自然を散策する「もりっこ」という活動を行っていましたが、横浜市に声をかけていただき、「横浜みどりアップ計画」の一環で市内の大学と協働して行う「よこはま森の楽校」の一つとして実施するようになりました。参加する子どもとその家族には、学生が自然豊かなキャンパスを案内しながら、自然に親しんでもらっています。参加者の満足度も高く、また、自然体験をさせることができる教員の養成にも繋がります。

——先生のゼミについて教えてください。

ゼミは「子どもと自然」がテーマです。で、自然が好きで学生が集まってきました。ゼミ募集の時には、「私、虫触れます！」と言って虫を握りしめて来る学生もいるくらいです。

この十数年で、ゼミ生の多くが保育の現場に就職しました。本当に子どもを理解する保育者になってほしいですね。それが一番大切なことだと思いますし、そのような保育者として活躍していると信じています。

# 中学1年生のはじめかた

～ Face to Face Communication ～

中学部長 石澤 友康

## 「小学部から来る生徒と仲良くなれますか？」

中学部の受験相談会の個別質問で最もよく聞かれるのがこの質問です。

新しい学校での友達づくりの不安。加えて顔見知りの小学部生が大勢いる中で、知り合いのいないひとりきりからのスタート。四月、大きな喜びと共にこのような不安を抱えて新中学1年生は入学してきます。中1歓迎礼拝での中1代表生徒のあいさつにあった入学式の時の心情はこのようでした。

「急に『ワクワク』が『ドキドキ』に変わりました。なぜなら、みんな知らない人だし、その中で小学部からの人が楽しそうに話をしていたからです。私は結構初対面の人でも話しかけられる性格ですが、この時は何も話すことができませんでした。また、『この子たちの輪に入れるだろうか』という不安や緊張が心の中にあり、それも『ドキドキ』の原因でした」

入学式を終えた彼女は、教室で小学部出身の生徒から声をかけられ、ボールペンを貸してもらったことが「嬉しくてたまりませんでした」と述べていました。

中1ガイダンス 1日目					
	1組	2組	3組	4組	5組
1時間目	英和の歴史(中学部長) 通学マナー(中学部教頭) 小講堂				
2時間目	ネットモラル講座 (講師:下平涼子さん) 小講堂				
3時間目	クラスづくりB (担任) HR	クラスづくりA (体育科・担任) 集會室	クラスづくりB (担任) HR	クラスづくりA (体育科・担任) 集會室	クラスづくりB (担任) HR
4時間目	クラスづくりA (体育科・担任) 集會室	クラスづくりB (担任) HR	クラスづくりA (体育科・担任) 集會室	クラスづくりB (担任) HR	クラスづくりA (体育科・担任) 集會室
昼休み	軽食&終礼				

下校



友達の輪！  
大成功！周りのサポートの友達も大喜びです

どんな学校に入学しても、友達がいなくて学校生活は色彩を帯びません。苦楽を共にする仲間の存在は中高時代になくしてはならないものです。中高六年間のスタートで、友達づくり・クラスづくりは極めて重要です。これまでも中学部ではさまざまな工夫をしてきましたが、今年初めて導入したプログラムについてご紹介します。

## クラスづくりプログラム

入学式・始業式の翌日は中1ガイダンスという特別プログラムをこのように組みま

した。例年行っている「英和の歴史や「通学マナー」についての部長や教頭の話」を短縮し、新たに「クラスづくりA」「クラスづくりB」を新設しました。また、年度中頃に行っていた「ネットモラル講座」を今年よりガイダンスに組み入れました。

新年度をスタートさせる前に、学年の先生方と新たなクラスづくりプログラムの案を練りました。具体的に何をすれば生徒たちの友達づくりの手助けとなるのか、さまざまなアイデアから採用されたのはエンカウンタープログラムとレクリエーションでした。

### クラスづくりA(レクリエーション)

五月の中1清里オリエンテーションに行っていたレクリエーションをバージョンアップして行いました。名付けて「プリンセスを守れ!」、「友達の輪!」、「プリンセスを守れ!」。

「スを守れ!」は一〇人一組のチーム戦で、一人のプリンセスを守るために三列の護衛を置き(ボウリングのピン配置の逆)、相手チーム一〇名がそれに襲い掛かります。戦いはすべて「ジャンケン」。三列を突破すればプリンセスとの対戦、負けたら引き返します。時間内にプリンセスに何回勝利したかで勝ち負けを競います。初めての友達とも言葉を交わし、走り、ジャンケンをします。大騒ぎで楽しそうでした。

「友達の輪!」は二〇人一組で輪を作り、隣の友達を信じて身体をあずけ、全員が空椅子の状態になれるかにトライします。このアクティビティにおいては初めての友達と身体を接触させ、さらに相手を信じる気持ちも必要になります。うまく友達の輪ができたチームは大歓声を上げていました。失敗したチームも大笑いしていました。

### クラスづくりB(エンカウンター)

同じクラスの仲間でも意外と話したことがない生徒同士もいます。ここでは全員が全員と出会う場をつくりました。「みんなと話そう大作戦」です。クラス全員分の椅子を対面させ、一対一で顔を合合わせます。その場で簡単な名刺を作り、相手と交換して話をします。時間になったら回転寿司のベルトに乗ったお寿司のように隣に移り、また違う人と出会います。全員と顔を合わせるまで続けます。和気藹々とした雰囲気の中、生徒たちは同じ趣味の子を見つけては盛り上がっていました。

## Face to Face Communication

最近の子どもたちは、スマホやパソコンなどのコミュニケーションツールを持ち、SNSなどで「見えない相手」とも会話をし、「知らない相手」にも自分のことを公開します。Web上に潜む危険性を中1はまだ十分には理解していません。たった一文字の使い方でも、書いた人の意志と読んだ人の受け止め方がずれてしまい、誤解からトラブルになることもあります。毎年、中1にネットモラル講座を担当していただいている下平涼子さんのお話をこの日に設定したことは、意味があります。コミュニケーションの基本は顔と顔を合わせることです。新生活をスタートさせる最もデリケートな時期は、直接相手の顔を見て話し、お互いを知り合うことが大切です。その機



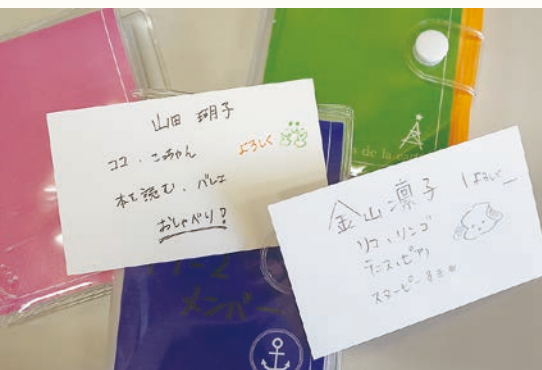
プリンセスを守れ！  
オフェンス側はジャンケンに負けたら、起点を回って再度チャレンジです。走れ！走れ！



プリンセスを守れ！  
ディフェンス側は敵をプリンセスまで辿りつかせないよう3重の防壁を敷きます



みんなと話そう大作戦  
テレビ番組で観た集団お見合いの出会いタイムからヒントを得ました



友達と交換した名刺は大事な宝物です

会を敢えて作ることによって、友達づくり。クラスづくりがスムーズに進むきっかけになればと考えました。

中学1年生が沢山の友達と共に、敬神奉仕の心を持つ英和生へと成長していくことを心から願っています。

### ☆感想 生徒A

私は人見知りで自分から積極的に知らない子に話しかけることはあまりないので、ガンダンスでたくさんの子と話せる機会を用意していただいて本当に嬉しかったです。来年、もし私と同じような子が入学しても、その子は安心できるのではないかと思います。

### ☆感想 生徒B

私はこの日まで誰もしゃべることなく、しゃべったとしてもあいさつだけやしのおしゃべり程度で友達といった友達もない、そんな生活だったためか「私はこの学校で本当に楽しく過ごせるのだろうか」「私、このままだったらどうしよう」などと考えていました。ところが、このガンダンスで少し友達にしゃべりかけてみたら、その日からは普通にしゃべれるようになっていて、今までの不安がウソのように消えていきました。その日から学校生活がとても楽しく、あつという間に一か月が過ぎ、学校生活が楽し過ぎて、疲れるけど週末はいられないと思うほどです。このクラスはおもしろいクラスなのでこれからもっともっと楽しい生活が送れると思います。

### ☆感想 生徒C

名刺交換では一人ずつ一対一で話すことができたので、どの子がどの名前かを憶えられました。さらにレクリエーションの後だったため、さっきの子はこの名前の子だと思ったり、好きなことが一人ひとり違い、この子はこれが好きなんだと、友達のことを知ることができて本当によかったです。

### ☆感想 生徒D

ネットモラル講座を聞いて、インスタグラムやフェイスブックやLINEなどに安易に写真を載せるのは危険なんだ、メールでは記号ひとつで誤解をまねくんだと分かりました。

# 「いのちは永遠に生き続ける」

二〇一六年度の小学部学芸会において、二年生は劇「葉っぱのフレディ いのちの旅」を演じました。原作は、アメリカの教育学者レオ・バスカーリアによる、絵本『葉っぱのフレディ いのちの旅』（童話屋みらいなな訳）です。

春に一本の木の枝に生まれた葉っぱのフレディは、葉っぱの仲間たちから、日光浴の仕方や、雨に体を洗ってもらうこと、月や太陽や星の動きなどたくさんのお話を学びながら大きくなり、人間たちのために木陰を作ってあげるといった「葉っぱの仕事」も経験します。そうした日々を通じ、フレディは「葉っぱに生まれてよかった」という思いを抱くようになります。やがて葉っぱたちは紅葉して美しい姿に変化しますが、それは同時に、もうすぐ冬が来ること、すなわち死の時間が近いことを示していました。フレディは自分が死ぬことに不安を覚え、いつかは死んでしまうのにはどんな意味があるのか考えるようになります。仲間たちはフレディを安心させるように、優しい言葉をかけてくれますが、やがて彼らも次々と枝から離れていき、フレディはついに独りになります。冬になって初雪がふり、とうとうフレディも風に運ばれて地面におり、自分が離れた大木の姿を、初めて離れたところから目の当たりにしました。そこ

でフレディは、いのちの永遠のつながりを感じとり、穏やかな眠りにつくのでした。

シンプルなお話から、生きる意味とは何か、また誰も避けられない死の訪れをどのように受け入れるかという、いのちのあるものの生涯にわたる課題について考えさせられます。死は、その瞬間が訪れるまで、それがどのようなものなのか、誰にもはっきりとしたことを言うことはできません。けれども、葉っぱの仲間が語る「いのちはみんな変わりつづけている。死ぬというのも変わるものの一つなんだ。いのちも変化しながら、いつまでも永遠に生き続けるんだよ」という言葉は、フレディだけでなくわたしたちにも勇気と心の平安を与えてくれるように感じます。

無邪気な二年生の子どもたちが、果たしてこのお話をどのように受け止めるのか、正直なところ、少し気がかりでもありました。ところが台本を配付し、劇の練習を始めた子どもたちの様子を見ると、事前に抱いていた心配は全くの杞憂でした。快活で思い切った演技だけでなく、絶妙の間と表現力によって笑いを誘い、クライマックスに至る感情の高ぶりには、穏やかな口調の中にも力強さが込められ、どの場面もたいへん表現豊かに演じ分けられました。劇中の歌の振り付け練習では、自分たちが

動きを考えて互いに教え合うという積極性を発揮し、子どもたちみずからこの劇をよりよく作り上げていこうとする意気込みが感じられました。周到な練習を積み重ねて臨んだ予行練習では伸び伸びと演じ切り、本番の演技もその勢いのまま、今までの最高の出来で立派にやり遂げました。

学芸会を終えて書いた作文には、子どもたちがこの作品のメッセージを敏感に感じ取り、自分たちの演技に生かそうとしていたことがよく表現されていました。フレディの不安、悲しい気持ちに寄り添いながら、いかにその思いを短い台詞の中に表現していくかを、家で何度も練習したという子がいました。繊細な感性をもってこの作品を味わい、自分たちでよりよい劇へと仕

上げていこうとしていた意欲の表れだと思っています。

子どもたちが、今回の経験から学び取ったことを、今後も折に触れて思い返してくれば嬉しく思います。フレディのように希望をもって、いのちや生き方を顧みていくことのできる子どもたちに育ち、「生まれてきてよかった」という思いを抱きながら、これからも歩んでいってほしいものです。

原作者のバスカーリア博士は、「愛は学ぶものではない」とも語っています。劇を演じた子どもたちや、観劇してくださった方々が、この学芸会を、愛を学ぶ場のひとつとしてくださったのであれば、とてもうれしいことです。



終幕の前の全員合唱「葉っぱのフレディ」



自分たちで考えた振り付けの、練習に励む子どもたち

## わたしのおうち・ぼくのおうち

子どもたちの好きな絵本の中に「三びきのこぶた」があります。母親の元を離れたこぶたたちは藁の家、木の家、煉瓦の家、思い思いの家を建てます。

幼稚園でも毎日子どもたちの手によってさまざまな家が建てられています。園庭には既存の木の家と星の家がありますが、そこが埋まると子どもたちの知恵のつかいどころです。組み木の家、ごさを広げた家、すのこを敷いた家、ベンチで囲った家、砂場に掘った穴、ヒューム管の中はもちろんのこと、子どもたちの手にかかること、こじんまりとした住み心地のよい家のできあがりです。

先日、年長組のお母様方の保育参加を行い、子どもたちと遊んだ後に感想等をお話しいただく時をもちました。その際、多くのお母様が感じられたことのひとつが「子どもたちって、出入りが自由なんですね。」というものでした。「いっしょにあそぼう!」と言ってせつせと家をつくり、ままごとの道具を集め、ごちそうを作っていたかと思うと、「じゃあ、しごとにいきます。」等と言って自由に他の遊びに出かけて行きます。そして、また別の子どもがいつの間にか仲間入りしたりします。誰でもウェルカムの家もあれば、「さんにはしかはいれないから!」と断られる家もある

り、それぞれです。そのやり取りの中に育ちのチャンスがある事にもお母様方はちゃんと気づいていらっしゃいました。

大好きな家族がいて、たとえおおかみがやってくるでも大丈夫! 安心できる居場所...そんな家庭から一歩踏み出してやってきている幼稚園。子どもたちは家をつくったり、三輪車をこいだり、泥団子を作ったりしながら自分の中に幼稚園の生活を取り込んでいきます。一人ひとりがどんな居場所を見つけているのでしょうか。そつと見守りたいと思います。



箱で作ったガオガオも一緒におうちの中ですこします

## 「かえで文庫」―親子で絵本と親しむ―

毎週金曜日の降園時に、ホールの絵本のコーナーで「かえで文庫」が開かれます。年長組が親子で絵本を一冊選び、借りて帰ります。子どもたちは前の週に借りた本を返し、自分の図書ノートに、返却しましたのしるしのハンコを押します。子どもたちの好きな動物等が彫つてある手作りハンコを用意したので、どのハンコを押そうか楽しそうに迷う子どももいます。借りていた本を返した後、その日借りる絵本を選びます。

絵本のコーナーには保育者がその時々のお勧めの絵本を紹介する棚もあり、子どもたちはそこから選んだり、その週にクラスで読んでもらった本を「家でも読んでみたい」と探したりします。同じ本を毎週借りて帰りたい子どももいます。借りたい本が決まった子どもは保護者に、日付と借りる本の名を図書ノートに書いてもらいます。そのノートは、一年間を通してどんな絵本を読んだかがわかる、親子の読み聞かせの良い記録となり、卒園の時に子どもたちに渡されます。

忙しい日常生活で読み聞かせの時間を持つことは容易なことではないでしょう。それでも私たちには、親子で絵本を楽しむ時間を大切にしてほしいという願いがあります。年長組の「かえで文庫」や、年中組が週に一度の降園時に親子で絵本を楽しむ「絵本の集い」はその願いからのものです。絵本と親しむ嬉しい時間を積み重ね、好きな絵本を親子で楽しむ幸せを味わうことで、子どもにとって絵本がより身近な存在となります。それと共に絵本に親しむ時間は、読んでくれる大人とのかけがえのないつながりを生みます。

子ども時代になような時間がたつぷりとなりますようにと思いつくしながら、毎週楽しみに「かえで文庫」の準備をしている私たちです。



かえで文庫の様子



親子で絵本を選びます

二〇一六年度 学院の決算概要

法人事務局財務部

学院

収入面では、学生生徒等納付金、寄付金が予算を上回りましたが、入学検定料収入中心の手数料は大学受験者数の減少により、また経常費補助金は大学在籍者数の増加により減額されたため、教育活動収入合計は予算を二五百万円下回る五、七八八百万円となりました。一方支出面では、経常的な支出については前年度の水準を維持しながらも、学院各部の経費削減等により、教育研究経費および管理経費が予算比それぞれ五六百万円、六七百万円減少し、教育活動収支差額は一四一百万円のプラスを計上しました。教育活動外収支はほぼ予算通りの一七六百万円のプラスを計上し、また、特別収支では各部の天井耐震化工事に係る施設設備補助金の獲得や有価証券売却による収入増などもあり、基本金組入前当年度収支差額（※）は前年度（二二二百万円）を上回る四九七百万円のプラスとなりました。

教育研究環境の整備を目的とした施設・設備更新については、天井耐震化工事をはじめ、大学・大学院のPC設備更新、中高部の教務システム更新や放送設備更新、小学部の電子黒板・タブレット端末購入や無線LAN設備導入等当初計画通り実施した結果、借入金返済分の組み入れも含め基本金へ五一六百万円組み入れたため、当年度収支差額は一九百万円の若干のマイナスとなりました。

（※）基本金組入前当年度収支差額＝事業活動収入計－事業活動支出計

事業活動収支計算書

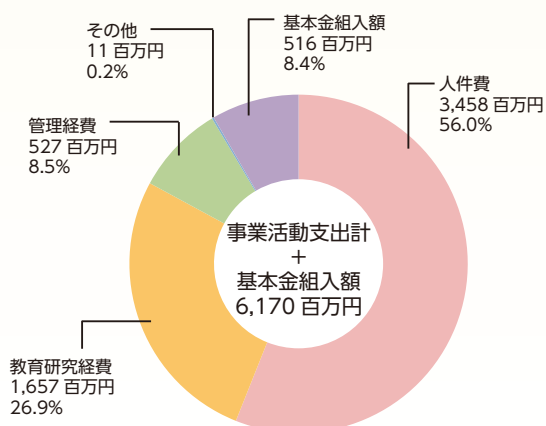
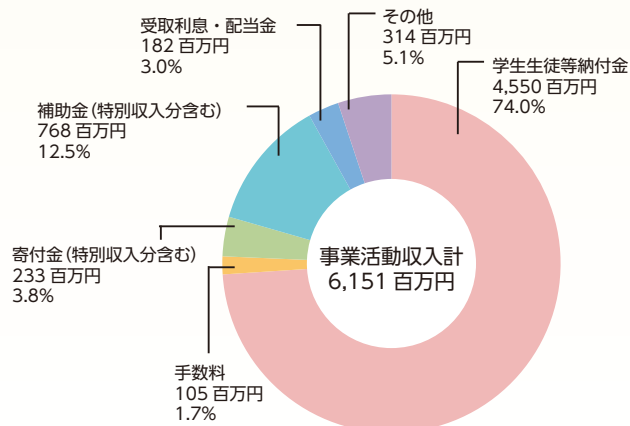
(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	4,549	4,550	△1
手数料	112	105	7
寄付金	169	179	△10
経常費等補助金	732	688	44
付随事業収入	126	126	0
雑収入	124	139	△15
教育活動収入計	5,813	5,788	25
人件費	3,485	3,458	27
教育研究経費	1,713	1,657	56
管理経費	594	527	67
徴収不能額等	4	4	0
教育活動支出計	5,796	5,647	149
教育活動収支差額	16	141	△125
受取利息・配当金	183	182	1
教育活動外収入計	183	182	1
借入金等利息	6	6	0
教育活動外支出計	6	6	0
教育活動外収支差額	177	176	1
経常収支差額	193	317	△124

科目	予算	決算	差異
資産売却差額	33	48	△15
その他の特別収入	103	134	△31
特別収入計	136	182	△46
資産処分差額	2	2	0
特別支出計	2	2	0
特別収支差額	134	180	△46
予備費	(12)		28
基本金組入前当年度収支差額	299	497	△198
基本金組入額合計	△567	△516	△51
当年度収支差額	△268	△19	△249
前年度繰越収支差額	△2,198	△2,198	0
翌年度繰越収支差額	△2,466	△2,217	△249
(参考)			
事業活動収入計	6,131	6,151	△20
事業活動支出計	5,832	5,654	178

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

※ 予備費の上段( )内は使用額、下段は残高です。使用額は使用した科目の予算額に加算されています。



# ✧クリスマス関連諸行事のご案内✧

## 大 学

### チャペルコンサート(公開行事)

日時:11月17日(金) 18:10  
場所:東洋英和女学院礼拝堂(横浜校地)  
入場料:無料(予約不要)

### アドヴェント点灯式(公開行事)

日時:11月29日(水) 18:10  
場所:東洋英和女学院礼拝堂(横浜校地)

### クリスマス礼拝(公開行事)

日時:12月19日(火) 18:10  
場所:東洋英和女学院礼拝堂(横浜校地)



クリスマス礼拝

## 中学部・高等部

### クリスマス音楽会(公開行事)

日時:12月9日(土) 13:00 (1回目)、  
15:00 (2回目)  
場所:新マーガレット・クレイグ記念講堂  
出演:ハンドベル部、合唱部、器楽科オーケ  
ストラ、オルガン科、混声合唱他  
入場料:無料(事前に申し込みが必要です)

### YWCA主催キャンドルサービス

日時:12月15日(金) 16:00  
場所:中高部 小講堂  
出演:ハンドベル部、合唱部

### 中学部クリスマス讃美礼拝

日時:12月20日(水) 8:30  
場所:新マーガレット・クレイグ記念講堂  
☆礼拝後、「タブロー」といわれる聖誕劇が行われます。

### 高等部クリスマス讃美礼拝

日時:12月20日(水) 10:30  
場所:新マーガレット・クレイグ記念講堂



クリスマス音楽会



YWCA主催キャンドルサービス

## 小 学 部

### アドヴェントをむかえる会(全校児童)

日時:12月4日(月) 8:20  
場所:小学部 講堂

### むかえようクリスマス(公開行事)

日時:12月16日(土) 14:00  
場所:小学部 講堂  
☆クリスマスメッセージ、聖歌隊・ハンド  
ベルによる賛美、聖劇、一同による賛美

### 小学部クリスマス礼拝 (全校児童、保護者)

日時:12月19日(火) 9:00  
場所:小学部 講堂



むかえようクリスマス

## 東洋英和幼稚園

### 年少組アドヴェント(終業)礼拝

日時:12月14日(木) 時間未定

### 年中・年長組アドヴェント(終業)礼拝

日時:12月15日(金) 時間未定



年中・年長組アドヴェント(終業)礼拝

## 大学付属 かえで幼稚園

### アドヴェント礼拝

☆11月末よりそれぞれの集まりで礼拝を  
まもります。

### 未就園児クリスマス礼拝

日時:12月13日(水) 14:00

### 年少組クリスマス礼拝

日時:12月19日(火) 9:30

### 年中長組クリスマス礼拝 I

日時:12月20日(水) 16:45

### 年中長組クリスマス礼拝 II

日時:12月21日(木) 16:45

### 小学生中学生クリスマス礼拝 (卒業生他)

日時:12月22日(金) 15:30



アドヴェント礼拝でのページェント

## 学 院

### 全学院クリスマス礼拝(教職員対象)

日時:12月8日(金) 17:00  
場所:小学部 講堂  
説教者:高橋 潤先生(日本基督教団 銀座教  
会牧師)

## 同 窓 会

### 同窓会クリスマス礼拝、 クリスマス・ミニコンサート

日時:12月2日(土) 13:30  
場所:新マーガレット・クレイグ記念講堂

## 母 の 会

東洋英和幼稚園母の会ではアドヴェント  
礼拝・祝会、小学部・中高部の母の会ではク  
リスマス礼拝・祝会を行います。



獣医師  
代々木公園犬猫病院院長

はちや かなこ  
蜂谷 可奈子さん

1997年高等部卒



## 英和は私のパピーウォーカー

「動物のお医者さんになりたい」という東洋英和の幼稚園生の頃からの夢を叶え、現在は渋谷区にある犬猫病院の院長として活躍中の蜂谷さん。全ての基盤が築かれたという英和生時代を振り返り、想いを語っていただきました。

### 遠距離通学

在学中、私はあることで有名でした。それは誰よりも遠方から通っている、ということでした。神奈川県藤沢市から五〇キロ以上の道のりでした。今思うとよく五歳から一八歳まで通ったなど我ながら感心しますが、五歳からだったからこそ何の疑問も抱かずに通い続けられたのでしよう。幼稚園の先生方もよくぞこんな遠方からの受験者を合格としてくださったと感謝ですが、母は「園長先生の荒牧先生も小学部長の松本先生もお住まいがこちら方面だったからよ！」と運命的な事象だったことを今も強調しています。

### よく学びよく遊んだ英和時代

幼稚園の頃にはもう「動物のお医者さんになりたい」と思っていたような気がします。獣医師になるためには大学受験が必要。そのためには



幼稚園の運動会（左から2番目が私）



小学部の夏期学校への車中。部長先生と相席で特等席!?（左から2番目が私）

勉強しなくては、と常に思っていました。そして勉強が大変だからこそ、遠足、楓祭、修学旅行などの学校行事は本当に楽しかったです。幼稚園からの友人、川崎さつきちゃんとは大学受験も共に戦い、今でも変わらぬ大親友です。かけがえない友人に出会い一四年間もの年月を一緒に過ごせた事も一貫教育の大きな恩恵でした。スカートの丈の短さとその頃大流行りのルーズソックスをいかにバレずに勝ち取るか、が私たちの日々の課題でした。

### 獣医師になってから

### 英和時代は私にとつてのパピーウォーカー

勉強しなくては、と常に思っていました。代々木公園犬猫病院の院長となり早六年になります。子どもの頃から思い描いていた理想と全く一緒ではありませんが、ぶれずに獣医を目指してきてよかったなど日々感じています。

「パピーウォーカー」という言葉をご存知ですか？パピーウォーカーとは盲導犬候補の仔犬を生後六〇日から約一年間、家族の一員として飼育するボランティアのことです。愛情いっぱい育てられることで「人と一緒にいると楽しい」という盲導犬にとって大切な要素が仔犬時代に養われます。人も犬も幼少期に「家族、周りの大人に愛情を持って見守られている」という安心感をたっぷりと感じて育つと、その後の人生で頑張らなくてはならない時に自分を信じて頑張ることができるようだと思えます。

私の母は幼稚園から小学部の低学年まで毎日片道一時間半ほどの送迎をしてくれましたが、大変だったとは一度も言わず、「お陰で毎日六本木に行かれて楽しかったわ」と笑顔で言ってくれます。中学からは毎朝五時起きでお弁当を作ってくれました。感謝してもしきれません。英和の先生方も口うるさいなと思っ

た。代々木公園犬猫病院の院長となり早六年になります。子どもの頃から思い描いていた理想と全く一緒ではありませんが、ぶれずに獣医を目指してきてよかったなど日々感じています。

も困った時にはいつでも側にいて助けてくださるといふ安心感がありました。高三の担任だった石澤先生は私が実力以上の大学受験を希望しても無理とは決して言わず「おう、そうか頑張れ」と応援してくださいました。私の後ろには「大丈夫」と微笑んで見ていてくれる大人たちが沢山いました。

獣医師になり、生死を扱う職業柄、沢山の悲しいこと、残念なこと、寂しいことがあります。しかし、大好きな動物に毎日触れる事ができると、「やるべき事をやり努力し、その結果が満点でなくても分かってくれる人はいるし私には家族も友達もいる」という自信があること、この二点があるからこそ私は今日も獣医師という仕事を続けていられるのだと思います。

楓の園から旅立ち早二〇年が経ってしまいました。私の子どもも時代でありそこです。その時代は幸せな思い出でありそこで人生の基盤を築く事ができたのは周りの皆様のお陰です。ありがとうございます。

■はちや かなこ / 幼稚園から高等部まで東洋英和女学院在学。その後麻布大学獣医学部獣医学科を卒業後獣医師に。在学中に米国ペンシルバニア大学、コーネル大学で研修。世田谷区で5年間勤務医をした後に現職の代々木公園犬猫病院院長に就任し今に至る。

## 聖書の言葉

物欲しさにこう言っているではありません。わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。

主にある自給自足

使徒パウロは新約聖書、フィリピの信徒への手紙四章十一節で「わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです」と記しています。この言葉は文語訳聖書でみると「私はどんな境遇にあっても足ることを学んだ」と訳されています。この「足ること」という語はギリシャ語の「アルタルケース」という言葉が用いられています。この言葉は、語源的には「自給自足」を意味しています。



院長室にて (2017年7月)

私たちは一人残らず、誰しも、イエス・キリストの十字架と復活の出来事により、その罪を贖われ、赦され、救われ、神の愛と恵みの内に生きている存在であります。したがって、人間は誰しも、イエス・キリストにより、自由は誰しも、希望に生き、顔を輝かせて生きることが可能です。私はそのように信じて、わが八一年間の人生を今日まで主において感謝して歩むことができました。

院長 深町 正信

## 訃報

― 心より哀悼の意を表します ―

横山 博氏  
池間 誠氏  
藤野 敬子氏

元大学事務部長  
元大学教授等  
元幼稚園長、元評議員等

二〇一七年四月二六日  
二〇一七年七月二二日  
二〇一七年八月一〇日

## 史料室レター

No.23

### 『東洋英和女学院資料集 第五号』 M・J・カートメル関係史料』を刊行しました

学院創立者ミス・カートメルが宣教師として来日されたのは三七歳のとき。東洋英和女学院を創設し、体調不良で五年後に帰国、再来日しておもに甲府で伝道し、また病気のためカナダに帰国されたのが五一歳のとき。その後およそ五〇年後に母国で天寿を全うされました。彼女はどんなことを考えて日本にやってこられ、そして帰国後の長い年月を過ごしておられたのでしょうか。

そんな疑問に答えてくれるのが、この資料集です。

日本に到着して慣れない中での地震や嵐の恐怖、日本人に初めてキリストの教えを受け入れられた時の感激、仏教の葬儀に参列した時の違和感、女学校開校後は校務に忙殺されながらも支援者への感謝、さらに体調不良で静養を余儀なくされている際の苦悩が吐露されています。帰国後はカナダ国内各地でくまなく講演し「麻布の学校」と呼ばれた東洋英和への関心を高め、カナダ婦人ミッシヨンの幹部である従姉妹と共に暮らして彼女に続いた宣教師たちを励まし、支えた様子うかがえます。

一方彼女のもとには日本から知人たちが消息を寄せ、和風のクリスマスカードを送っており、カナダ国内からも何通もの婦人ミッシヨンの会議の報告書や、太平洋戦争が始まると帰国した宣教師たちの近況報告を交えたクリスマス会の会報紙が届けられていました。

参考資料として各文書の背景説明や、登場人物たちの写真も加えま

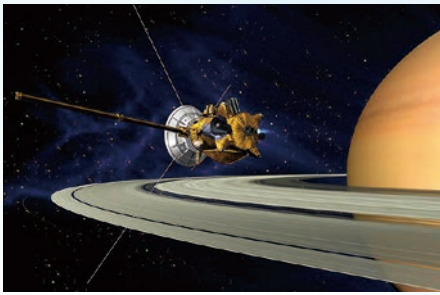
した。  
生身のミス・カートメルに近づける文書の数々を読んでみませんか？



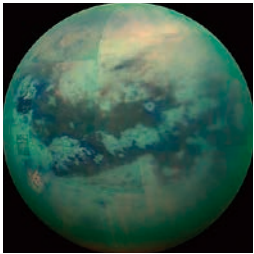
マーサ・ジュリア・カートメル (86歳)

『東洋英和女学院資料集 第5号』  
販売は本部・大学院棟 史料室にて  
1冊 1500円  
郵送希望の場合、事前に郵便振替(青い払込取扱票使用)でお支払いください  
口座番号: 00120-3-685741  
加入者名: 学校法人東洋英和女学院  
1冊 1700円(送料含)  
「資料集第5号希望」と明記のこと

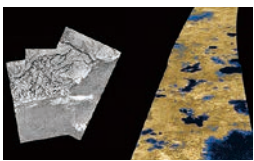
史料室連絡先 ● TEL: 03-3583-3166 FAX: 03-3583-3329 E-mail: archive@toyoeiwa.ac.jp



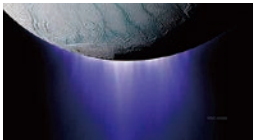
土星に到着したカッシーニ・ホイヘンス(想像図) ©NASA



近赤外線撮影したタイタンの分厚い雲の下の様子 ©NASA



タイタンの地表にある川や湖 ©NASA



氷の割れ目から水蒸気を吹き出すエンケラドス ©NASA

## 土星探査機 カッシーニ・ホイヘンス

今回の楓園の発行日、二〇一七年九月一五日は土星探査機カッシーニの最後の日です。このカッシーニの作製は、本体をアメリカのNASAが、本体に搭載した小型探査機ホイヘンス・プローブを欧州宇宙機関が担当しました。今から二〇年前に打ち上げられ、七年かけて土星に到着。現在まで当初の予定を大きく超えてさまざまな観測を行ってきました。特に私が印象に残っているのは土星の衛星の観測です。土星最大の衛星タイタンに向けて放出されたホイヘンス・プローブは、着陸するまでにタイタンの多彩な地形の写真を送ってきました。どこかで見たような景色、まるで地球のようです。地球よりも濃い大気があり、川が流れ、湖があります。太陽系において地球以外で唯一、地表に液体が存在する星です。ただし、流れているのは水ではありません。気温マイナス一八〇度のタイタンでは、液体メタンが川や湖を作っています。

そして、もうひとつ印象に残るのは、太陽系で最も白い星といわれている衛星エンケラドスです。カッシーニは分厚い氷に覆われているエンケラドスの表面から何かが吹き出しているのを発見しました。それは何と水蒸気。カッシーニはその後何度もこの衛星を調査し、この水蒸気に有機物が含まれていることも発見しました。氷の下には海底火山を持つ海があると考えられています。水があり、有機物があり、そして生命に必要なものがそろっています。エンケラドスの海では生命存在の可能性に期待が持たれています。

さて探査機カッシーニは今年の九月一五日を最後に土星の大気突入して燃え尽きてしまいます。何だかもうたいたような気がしますが、これは燃料が尽きて制御不能になり、タイヤやエンケラドスに衝突して汚染することがないようにするためです。長い間、頑張った皆さんのワクワクする写真と観測結果を送り続けてくれたカッシーニに感謝します。さよなら、カッシーニ。

## 後援会より

### ● 2017年度後援会役員会・総会報告

7月7日(金)、後援会役員会・総会が開催され、学院側を含め約410名が出席しました。役員会では、役員改選案、2016年度収支決算、2017年度収支予算案等について審議が行われ、全て承認されました。総会では、役員会審議事項報告等の後、学院各部代表者から現状報告があり、最後の懇親会ではなごやかな歓談の時を持ちました。



2017年度後援会常任役員

## お知らせ

### ● 次期院長の選任について

深町 正信 院長の任期満了(2017年9月30日)に伴い、7月21日(金)開催の理事会において、深井 智朗 副院長が次期院長に選任されました(任期:2017年10月1日～2021年9月30日)。

## 同窓会より

### ● 東洋英和女学院同窓会・定期総会報告

6月3日(土) 13時10分より新マーガレット・クレイグ記念講堂に於いて東洋英和女学院同窓会総会が開かれました。学院同窓会に連なる各会の同窓生は午前中にそれぞれの総会をすませ、総勢231名が出席しました。

本校の大学院で学ばれ学位を取得された、イムヌエル聖宣神学院院长・河村從彦牧師による礼拝の後、総会議事に移りました。活動報告・会計報告・新役員承認・退任役員紹介など順調に進み、議事はすべて承認され、拍手をもって終了いたしました。

その後行われた学院史料室の酒井ふみよ氏(高等部1970年卒)の映像をまじえた『英和写真館-英和生のおしゃれと学校生活から-』と題した講演に、懐かしさを感じた同窓生も多くいたのではないのでしょうか。

15時より場所を中高部集会室に移し、今年卒業したばかりの初々しい同窓生から大先輩まで、和やかなお茶の時間を過ごし、学院同窓会の1日は過ぎました。



礼拝のようす(左:河村從彦牧師による説教)